へ13
2653
6

遠へ門
號 2653
10—6

白木屋

義經記巻之十一

目録

一 源氏国宮被召出并静事

義倉屋敷

られしよ幼おん様なれ、眉うつくしの袖
たゝ人ならぬ額つき愛敬なまじ（ゐ）毎もなく抱つかまつ
ばかりまそひりて見ゐ書ども入りつゐ定しかた様ふ
よ絶うさふうさすなり忘しを抱
立やおゝれたゝ千歳
候てまゐる。悔おも浪人うなれ
さ抱参相ぐうも第

目録

白木屋

義倉圖錄卷之上